

証言台からの報告

「裁判長心境察して」

被災18日後に死んだ者も

遺族証人

本号から数回にわたって、三池大災害裁判の公判廷で行われた遺族の証人の証言を抜粋して紹介しています。今回は次の方々です。(なお文章は、永江美由紀・遺族会事務局長が整理して下さったものです)

本田フサエさん

良人の国男さんは、大爆発被災後十八日目、同年十一月二十六日、入院先の久留米大学病院で息をひき取る。探炭から坑内機械工となつて三年目の被災だった。家族は証人のほかに、一女二男の子ともがある。

×

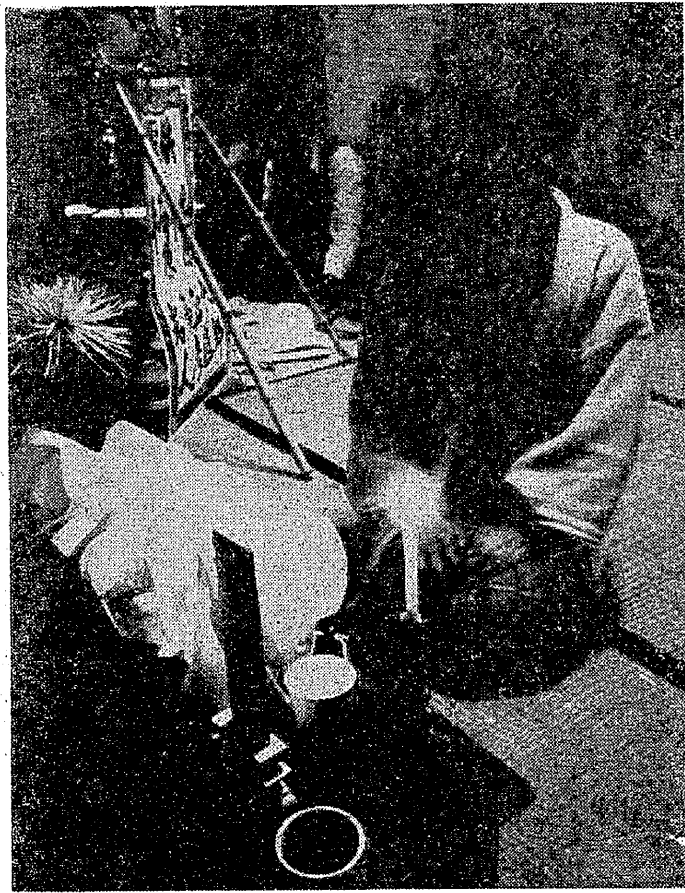
証言

天領病院の旧病棟の一病室に寝て

いた良人をさがし当てたのは、爆発が起きた翌十日朝十時頃だったと思います。

夜通し、組合と病院をさがしまわつたのにわからず、死体安置所にかわつていた体育館にもいきました。

二度目体育館にいった時、マイクの知らせで良人が天領病院に入院しているとわかり、初めて病室



浜村ミサオさん

二十九歳のとき最愛の良人(重光さん)は、万田鉱で起きた落盤事故で殺されましたが、そのときどき息子(重信)は生れて二十日目に

良人の遺体は、見せてもらえませんでした。産後のショックからでしょう、今も頭が重く、苦しんでいます。

夫が、遺骨に成り果てたあの日の思い出。子どもを道連れに、死のうと考へたことも幾たびか。思えば、よくも今日まで生きてきたものだ。なんのためにこの苦しみぞ。

×

証言

良人の遺体は、見せてもらえませんでした。産後のショックからでしょう、今も頭が重く、苦しんでいます。

本多先生 良人を鉱山でうしなつて、どうして子どもの重信さんをお社に入れたのか。

答 え 姉と二人も高校にはやれず、経済的に食うのが精いっぱいでしたので、やむを得ませんでした。

本多先生 重光さんの生きていた頃の収入と比べたら、どうでしたか。

答 え 半分、いや三分の一やうでした。

本多先生 身うちで、「もしも」

×

本多先生 良人の退職金で食べました。それと和裁です。

本多先生 裁判長にいいたいことは……?

答 え (裁判長に) 私はひとり身でございいます。もしもからだが動かんようになったとき、つきまといの要るとき、責任をもつて会社に面倒を見てもらわないとどうにもなりません。裁判長、私の心境を察してください。

証言

良人の遺体は、見せてもらえませんでした。産後のショックからでしょう、今も頭が重く、苦しんでいます。

本多先生 良人を鉱山でうしなつて、どうして子どもの重信さんをお社に入れたのか。

答 え 姉と二人も高校にはやれず、経済的に食うのが精いっぱいでしたので、やむを得ませんでした。

本多先生 重光さんの生きていた頃の収入と比べたら、どうでしたか。

答 え 半分、いや三分の一やうでした。

本多先生 身うちで、「もしも」

×

本多先生 良人の退職金で食べました。それと和裁です。

本多先生 裁判長にいいたいことは……?

答 え (裁判長に) 私はひとり身でございいます。もしもからだが動かんようになったとき、つきまといの要るとき、責任をもつて会社に面倒を見てもらわないとどうにもなりません。裁判長、私の心境を察してください。

相次ぐ便り、うれし

組合本部、CO守る会事務局には、うれしい便りが相次ぎ、私たちが大いに励まされています。

ここに次の方々の便り、抜粋してご紹介いたします。

藤永 和枝さんから CO守る会会費、送金が大変おくれました。金をおおびきします。気がなつていました。が、生来の無精者で、ついにおくれてしまいました。

機関紙、みいけ、引き続き送っていただきありがとうございます。あいつが物価値上げ攻勢で、何かと大変だと思ひます。頑張ります。

(藤永さんは「島根県鹿足郡六日町大字六日市」です)

関 竜太郎さんから 守る会の会費納入、遅れて申し訳ありません。

三池と安保の闘いがあつてから実に二十年。八〇年代こそ、三池の根柢が頑張りなほりませう。

元気で活躍ください。

(関さんは「松江市西津町一四〇二」です)

原告団消息

2月18日 原告団編集会議。

その日原告団レポート取材

19日 CO患者家族の会役員会議

3月2日 駒馬北班会議。(退職CO患者)

3日 池畑重富さん(新港作業所)曜病院へ入院。

この日原告団編集会議。

7日 労災法改正についての学習会(福岡市大手門会館で九州ブロック集會)

10日 竹田信行さん(万田作業所)労災病院へ入院。